夕刊
いわき民報

発行所
平市田町48
いわき民報社
編集部 電 381
営業部 電1222

梅雨の月溝にこぼれし花匂ふ
割烹 さなだ改め 徹金
平市材木町桜小路電四三六

百六戸に浸水す

橋梁流水、苗代麥の被害續出

昨夜の豪雨、河川氾濫

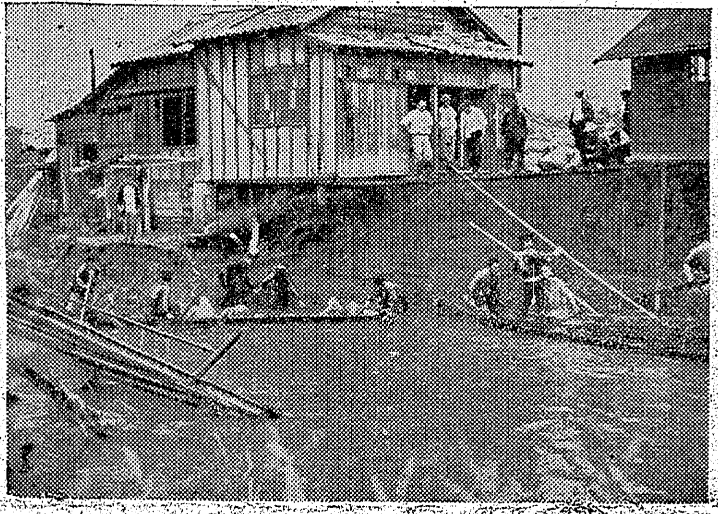
昨夜来の豪雨で石城郡内の磐城、植田、四倉方面は橋の流失を始め浸水家屋百六戸、水田の冠水二十五町歩、麦の倒伏二百二十町歩という本年初の水禍をうけた、特に磐城市内では家屋より高く道路が出来た小名浜駅前目抜き通り、日本水素前などはドブ水が八十戸に近い家屋に浸入するなど一時は消防署に出動を懇請する騒ぎだつた小名浜測候所の発表では昨夜八時から九時までの降雨が一番激しく坪当り五斗五升が降つた、各地の被害状況次の通り

平地區 水田二十町歩冠水（草野）麦五十町歩倒伏（夏井新田目地内）藤間中学校校庭のドテ崩れ（巾五メートル）

磐城地區 ▼床下浸水七十七戸（日立二十五、宮下十四、杉の中十三、小名浜駅前七、高山四花畑三、下川六、神笑三、大曲二）▼下川字神笑地内県道流出（巾三・六メートル、延長十一メートル）▼麦倒伏百二十町歩（泉、下川、滝尻、大原、芳川）三割減収▼苗代三町歩流失（住吉）▼二耗作馬鈴薯一町歩菜種四町歩冠水

植田地區 ▼東田橋流失（渋川上流）▼床上浸水二戸、床下浸水九戸▼水田一町歩冠水

四倉地區 ▼水田十五町歩冠水▼床下浸水二十戸▼麦倒伏五十町歩



【写真は東田橋】

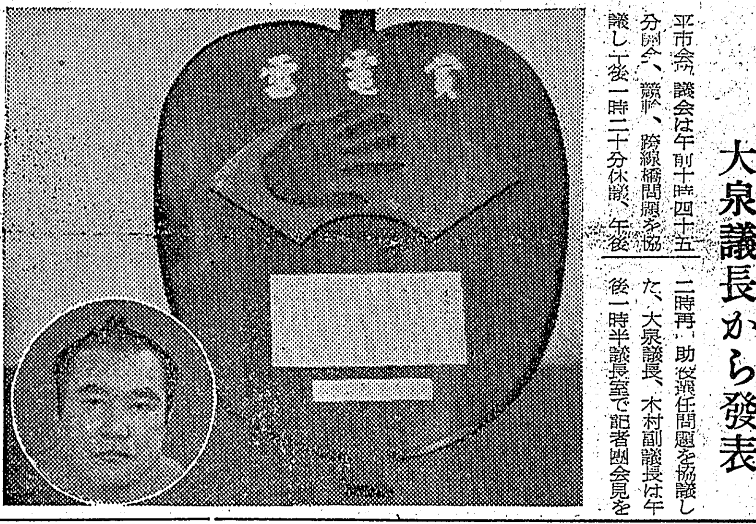
雷電賞を受く

榮譽に輝やく時津山

大相撲夏場所は二十九日の千秋楽で興奮とスリルの十五日間を終えたが、郷土出身の時津山関（前頭筆頭）は十二勝三敗（前場所七勝八敗）の好調で見事初の殊勲賞に輝き、読売新聞社からは雷電賞を授与され郷土民の祝福を浴びた、平消防署勤務の渡辺順一君は二十九日に声援のため上京、本社の傳言である「地元民は最後まで頑張つて欲しいとラジオにねばりついて声援をおくつている」旨話してもらつたところ〃郷土民によろしく、現在の地位を確保すると、もに三役陣をめざして稽古に専念します、今後もよろしくお願いします〃と挨拶した、なお時津山後援会（会長関内正一氏）では今度の栄誉について次の如く語つている

前に関脇までいつたので関脇に昇格するのじやないかとの観方もあるが、運がよければで三役陣の成績も割と良いのでこの中に割込むのは一寸むづかしいんじやないか、まず小結とみれば間違いないだろうし、その方が本人のためにもなると思うんですが―

同後援会では一週間ほど花相撲が行われるので地方巡業しないうちに代表二名が上京、祝福と激励労々記念品など贈呈することになつた【写真はもらつた雷電賞、円内は時津山】



古川傳一氏が當選

初代勿來市長決る

初の勿来市長選は降雨の二十九日十六カ所の投票所で一斉に行われ同夜七時二十分から植田小講堂で開票された、総投票数二一二一〇、有効二一一〇二、無効一〇八、投票率は八五・八%で初代市長に古川傳一氏が当選した、得票は左の通り

當 九八七九 古川傳一（六七）無新
次 七五八四 星友太郎（五八）無新
三六三九 横田定好（五七）〃

火力發電必ず実現へ

喜びを語る古川市長

初代市長の金的を射止めた古川氏はこの夜当選を祝福する同志多数に囲まれ満面に笑みを湛えながら左の様に当選の喜びを語つた

「本当に苦しい戦いであつた、幸にも当選の栄を荷つたことは運動員を初め全市民の熱意ある御支援の賜で感謝している、市長の重責を荷つた以上合併五カ町村の運営に積極的政策で進む考えでいる、それには持論の低品位炭を活用する一大火力発電所の誘致に身命を賭して実現に努力することを公約する、更に常磐綜合開発の眼目とされている鮫川の水を有利に工業用水化につとめ大勿来市の福利増進に寄与したい」

助役選任 結論得ず

きよう平臨時市會を開く

平市議会協議会は三十日午前十時四十五分から議事室に一切の傍聴を し秘密会で開会した、協議事項は跨線橋建設事業経過、競輪事業運営、助役選任の件でこれらの諸問題を協議したのち、午後（三時ごろの予定）から臨時市会に移つた、当面の重要問題である助役選任の件は去る二十八日の五日会新政クラブなどの集まりで検討した状況をみると伊藤現助役再選に対する批判が多く、いずれの会合も結論が生み出せないまゝ保留にされたのでそのまゝ市会に持込まれるものとみられるが、再選阻止組が市会の半数より幾分多い状況で議論未了のまゝ次期市会に持込まれるか注目されていた

◉…五日会は二十八日午後一時から田町パールに十九名の新人議員中十二名集まり、助役選任問題で協議したが、殆んどが伊藤助役に対する批判をならべた、たゞ伊藤助役に変るべき人物についてはいずれも持駒はあつても口には出さなかつたが、個人的な魅力に欠けている点、前市政における不明朗性個人的な艶聞の問題などまで持出され、諸橋市長の信任厚い伊藤助役再選阻止に対する批判に終始し「では誰れにするか」といつた問題までには行かず、結論は出なかつた

◉…同日午後六時から大貞に開かれた新政クラブでも同じ助役再選問題を論議したが、旧議員十七名の中にも伊藤助役では満足しないという議員が可成りみえたようで三十日の市会ではカンタンに結論が出せないとの空気が濃厚だつたこの会合でも批判だけに終り結論は出なかつた

◉…きようの市会では再選問題が出れば〃保留にせよ〃との動議が出され結局採決ということになれば無記名投票の方法を採る空気があり保留に落着ぐのでないかと見る向が多かつた

協議會の經過

大泉議長から發表

平市会、議会は午前十時四十五分開会、競輪、跨線橋問題を協議し午後一時二十分休憩、午後二時再開、助役選任問題を協議した、大泉議長、木村副議長は午後一時半議長室で記者団会見を行い、協議会の経過を発表した

◉…線橋建設事業経過に就ては市当局から昭和二十六年以来の国鉄当局との折衝から現状までの経過につき説明あり、未解決の同問題を早急に解決するため、特別委員を前回の十五名に対し九名（正副議長を加え）とすることに決め人選は議長一任と決めた

◉…競輪事業運営については従来運営委員五十名、常任運営委員十名とあつたが、決算報告をうける程度で有名無実的存在であつたため、委員間から不平も生じた、これを議会から九名、学識経験者から六名の計十五名とすることに決め、人選は近く議長が任命する、競輪開催副執行委員長の件は伊藤助役から「通産省から指示があつて執行機関に決議機関の者はタツチしないようにして欲しいとの連絡があつた」旨説明あつたが、水竹議員がこれに対し説明」振興会理事の場合は執行者と振興会が依任契約する関係上、議決機関の者は理事に入るのはこのましくない旨の通産省から指示があつたもので、競輪執行に当つては問題ないと思う、なお前回副執行委員長になつたのは競輪について諸橋市長就任当時、競輪のことについては何もしらないから競輪課と相談してやつて欲しいとの申入れがあつたゝめ就任したものである」と説明一同の了解を求めた、この件は別に結論を出さなかつたが次期市会まで議長が市長と協議の上結論を出すことになつた

提出議案

臨時市会の提出議案次の通り

▼助役選任について同意を求める件▼跨線橋建設特別委員会委員選任の件▼人権擁護委員推せんについて意見を求める件

きよう投票

財産區議選擧

常磐市湯本財産区会議員四名の補欠選投票は三十日午前七時から湯本公民館で行われたが、投票者に熱がないためか出足が悪く四割棄権が予想される、午後一時現在の投票率は有権者三千九百八十三票に対し一千三百四十二票の僅か三割三分強だつた

団交決裂

日曹赤井て

平市赤井日曹赤井炭鉱の人員整理問題は昨二十九日午後一時から山元で新所長栗宮八郎氏と組合代表の第一回団交を行つたが、組合側は退職金（一カ月分）未払賃金（二カ月半分）の全額払いを主張してゆずらず第一回交渉は物別れとなつた、同日の団交の経過では組合側は人員解雇については内諾している模様

人事消息

◇産業経済新聞平通信部氏家昇記者は福島支局へ、後任には支局岡部俊夫記者と決り卅日挨拶廻りした

天気予報

三十日

【今晩】西よりの風晴たり曇つたり

【明日】西よりの風明晩曇、日中晴たり曇つたり

海上は今晩沿岸は次第におさまるが沖合は風波が高い、明日は日中風波が出る見込み

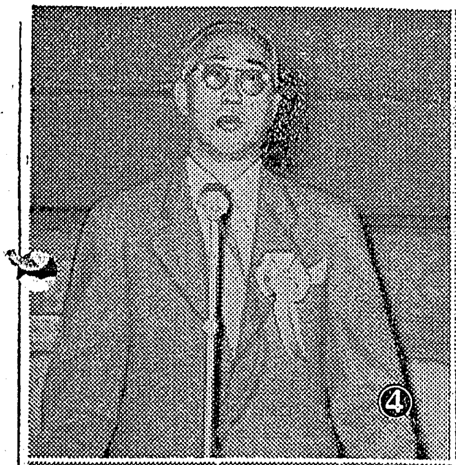
青葉若葉が目に泌む頃となりました皆々様に御愛顧頂きましたシスターも家事の都合上九州へ旅行して永い事休業させて頂きましたが従来通り営業始めました
昼は軽い御食事、生ビール、夜は麗人のサービス奏でる情熱のリズム又香り豊かな舶来の洋酒今度こそ吃度御満足を頂ける事と思います
働く女性の為にもアルバイトサロンとして他では味わう事の出来ない新しい雰囲気を多分に取入れて皆様のお越しをお待ち申上げて居ります
麗人募集 アルバイト女性求む
サロン バー シスター
平市仲田町七二TEL一四〇四

氷價格の改正
當地方は昨春以來中通り、若松方面より氷一貫匁に付き五圓安にお願い致して居りましたところ電力料金の値上り及び協同組合縣連合會の申合せにより左記の通りの協定價格に改正いたしましたから何卒右事情御含みの上今後とも御用命のほどお願い申上げます
六月一日から
一般用一貫匁につき金二十五圓
（但し城山、久保町、北目、八幡小路、胡摩沢方面は一貫匁につき五円ずつの配達料を申受けます）
▼配達時間は午後八時まで
▼配達数量は二貫匁以上
各位
平市氷卸組合

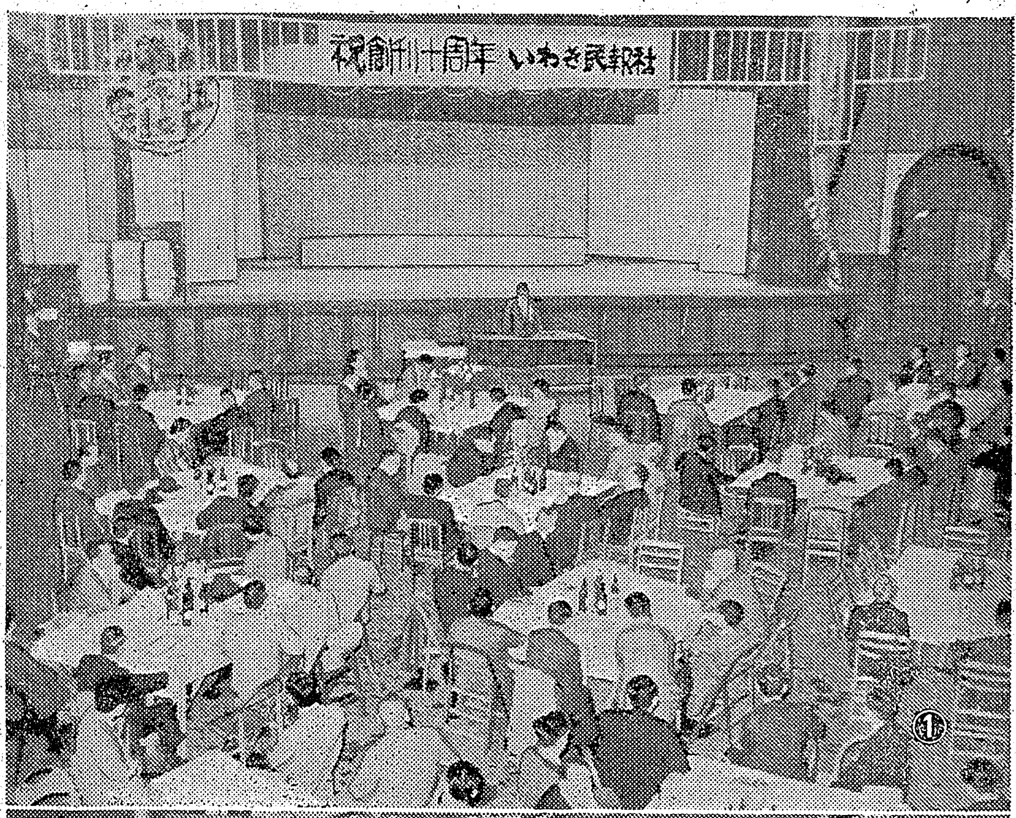
六月級
純白のレース糸を毛糸編機にのせて…貴女のモードを美しく飾りましょう（当会に編機用レース糸あり）
あみもの生募集
晝、夜、日曜の部（平市土橋電四八九）
平デザイナー編物普及會

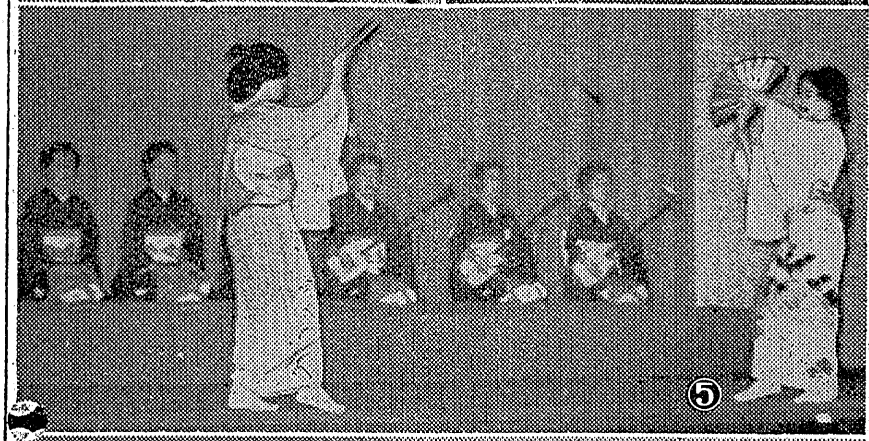
○喜多流 謡曲 仕舞
○幸流 小鼓
お稽古 毎週月水金土【入会随時】
平市田町電一二七 白土稽古舞台

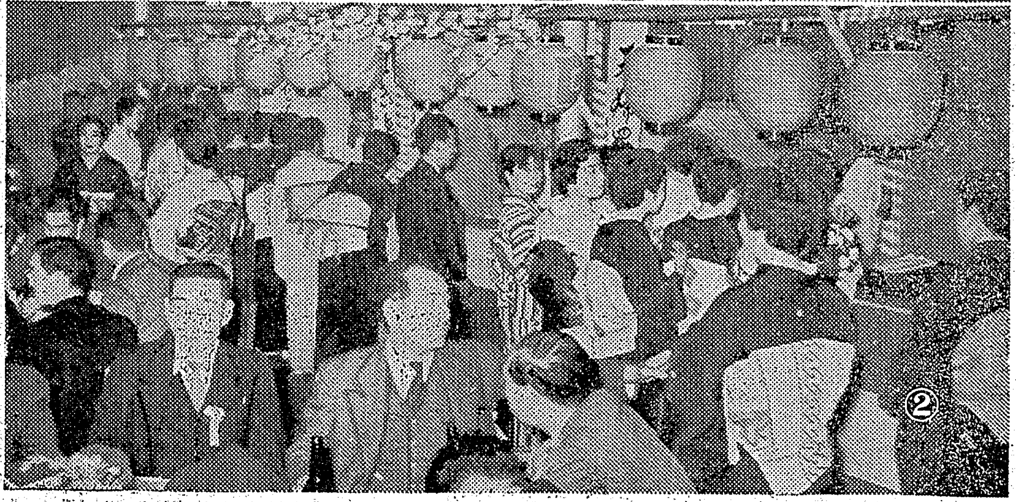
いよいよ明日限り
平市四丁目の家具専門店
閉店謝恩大賣出し
正價三割引大奉仕中
▽…但し四丁目売店在庫品限り
自家製造元の家具のデパート
伊東家具店
売店 平市四丁目本局前 電九五〇
本店 平市新川町 電四六四


④

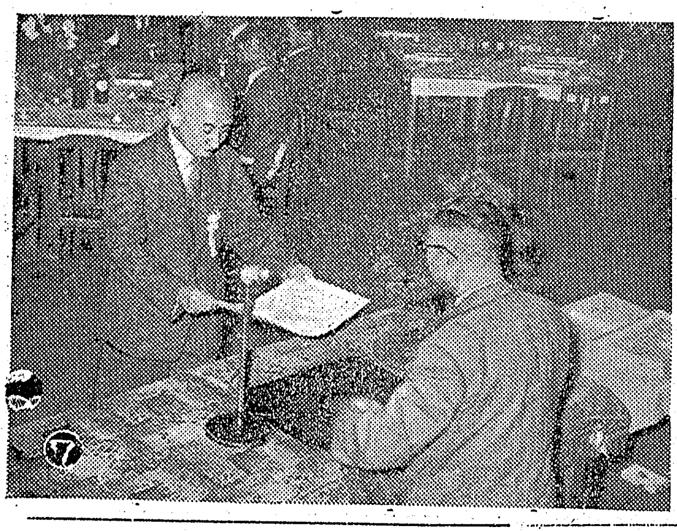
③


祝創刊十周年 いわき民報社
①


⑤


②

⑥


⑦

十周年祝賀會グラフ

①式典會場
②場内に設けられた園遊會式の模擬賣店に群るサービスのねえさん達
③諸橋平市長の祝詞朗讀
④野澤本社社長のあいさつ
⑤祝典を祝う常磐津「松島」平料藝組合
⑥同長唄「浦島」平藝妓組合
⑦野澤本社社長より表彰狀を受ける株主代表大谷專務

園遊會式に好感を得る

記念祝賀式場正面にはいわき民報創刊十周年記念祝賀会と横書した装飾看板を掲げ、平市、商工会議所、福島民報社から贈られた大花輪が飾られ、宴会は園遊会式とし左方にはすし、天ぷら、おでん、やき鳥、だんご、アイスクリームあんみつ、酒、ビールの出店が紅提灯をぶら下げて待機する、来賓席は上、下の別なく十人掛けの大テーブルに花を飾りゆつたりとした雰囲気で従来の会合気分の堅苦しいものから脱したことが来賓の好感を得た模様だつた、式辞も簡けつ、記念品贈呈、永年勤続者表彰、祝辞も簡明にして迅速、新時代に相応しいように素早く運ばれた、祝宴に移るや美妓四十名が本社から贈られた揃いの前掛でサービスに出動し転手古舞、飲み放題食べ放題という趣向なので時のたつに連れて宴はいよいよ酣、宴会ぎらいだという人でも悉皆り好い気分にひたつて長時間わが社のために祝つてくれたことは社員一同感激した、かくてこの祝典も全く和気満ちるなか非常な盛会裡に幕を閉じた

MINPO　祝いわき民報創刊十周年　MINPO

平信用販賣協同組合
理事長　堀　喜一　　事務所　平市南町52電735

（五十音順）
秋山時計店　平市駅前　電九八一
明智家具店　平市大通り　電二一三五
大庭美容院　平市南町　電一二八五
魁文堂　平市才槌小路　電三一三
三幸　平市三丁目　電一三一七
澤屋洋傘店　平市大通り　電二一三五
三久化粧品店　常磐市三函　電二〇三
鈴木勘氏商店　平市一丁目　電一六三八
スガタ靴店　平市二丁目　電二〇五九
瀬尾薬局　平市才槌小路　電五五三
平運動具店　平市才槌小路　電一〇八
高野文化堂　平市大通り　電二二二六
平製パン　平市鍛冶町　電一一五七
第二製パン　平市才槌小路　電八二七
玉半　平市三田小路電一四〇七
百合　平市大通り　電一八一七
藤越　平市銀座通り電一二八〇
藤森商會　平市鍛冶町　電二九六
東京[illegible]堂　平市才槌小路電一一〇八
丸進[illegible]　平市銀座通り電一三五八
門馬自轉車店　平市六丁目　電五五一
飯田カメラ店　平市紺屋町　電一三六五
ヨシダカパン店　平市駅前　電九八一
吉村ガラス商工　平市長橋町　電六八九

創刊十周年祝賀會

きのう平市公會堂で開催

來賓二百名が出席

余與もあって非常な盛會

本紙創刊十周年記念祝賀会は廿九日正午から平市公会堂本館で挙行した、小雨降る中を地方名士、官公衙長、大口広告主、株主など来賓二百名出席、田原編集長開会の辞、野沢社長の挨拶があって左の功労者に記念品（唐金の大火鉢）贈呈、左の永年勤続社員の表彰があり、大竹知事代理井沢地方事務所長、諸橋平市長、会議所会頭代理山崎賢助副会頭、飛島福島民報社長代理二瓶平支社長の祝辞から夫々更に躍進を希望するという意味の祝電の披露、大谷本社専務の閉会の辞があって直ちに祝宴に移り平料芸組合の常盤津松島、平芸妓屋組合の長唄浦島を披露、歓を尽して午後三時すぎいわき民報萬歳を三唱して会を閉じたが非常な盛会であった

功勞者

諸橋元三郎　関内正一　猪狩四郎
正木昌次郎　金古政通　野矢安孝
大谷　武雄　滝口豊　志賀子之松
坂井清之助　山田盤磨

永年勤續者

田原登　鈴木広永　平林正太郎
本間千枝子（以上創立以来）志賀弘道　小野姓広（以上九年）栁沼秀子　伊藤敬一郎　正木啓之　吉野運之助　卯木華　吉田光子（以上八年）稲島正　玉川正衛（以上七年）

祝電

◇十周年を迎え、感慨深し、今後一層愛される新聞として御発展を祈る　東京　関内正一
◇御盛会を祝し、今後の御発展を祈る　参議院議員　木村守江
◇御盛会を祝す　福島県知事　大竹作摩
◇御盛典を祝し、今後の御発展を祈る　県人事委員　蓮沼龍輔
◇御盛会を祝し、今後の御発展を祈る　県会議員　馬目武之助
◇十周年を祝い、益々御発展を祈る　県会議員　小野義一
◇謹んでお祝い申上げます　県会議員　鈴木喜政
◇十周年記念を祝す　県会議員　懸　文治
◇十周年を祝し、貴紙の発展を祈る　NHK平放送局長菅田三郎

御出席の來賓

◇大竹敬喜（地裁平支部）斎藤兵三（平法務局）木本勝（平税務署）勝呂幸雄（平郵便局）藤村政治郎（平電報局）永峰健三（平電話局）荒谷元八郎（平労基署）加藤金吾（平公共職安）渡辺勇治郎（日本専売公社）池田喜儀（平駅）鈴木忠住（水産事務所）新妻利勝（平保健所）井沢保（石城地方事務所）橋本勲（石城地方町村会）佐藤貞雄（平警察署）鈴木壮（平復興事務所）井上貞治郎（平消防署）諸橋久太郎（平市長）伊藤秀吉（平市助役）沼田一夫（内郷市長）立花秀吉（磐城市長）岩川与助（東部石炭協会）佐藤清司（三和村長）新妻長太（川前村長）逸見万吉（田人村長）

◇諸橋元三郎（諸橋合名）関内品子（関内正一商店）猪狩四郎（平運輸）金古政通（平市議）正木昌次郎（平土建）飯田近治（聚楽館）野矢安孝（市原商店）横山徳男（大丸）程塚公（程塚鉄工所）島田勝吉（平館）岡田弘成（朝日新聞）富岡靖介、松浦直惠（松浦靴店）伊藤東一（平製氷）水竹伊之助（平市議）渡辺啓（大国）野崎喜八郎（常磐交通）山田盤磨（平建設）大谷武雄（大谷商店）山野辺陽（山登園）安達新一（月の家）佐藤源吉（佐藤鉄工所）高橋勝吉（高橋活版所）菊田勝巳（菊田板金）坂本昌蔵（平市議）色川清（色川材木店）橋本徳治（橋本玩具店）馬目佳彦（大黒屋）佐藤三平（佐藤材木）伊藤彌兵衛（小柳）今井岩根（平運輸）坂井清之助（坂井税理事務所）佐藤幸太郎（二葉館）稲島正、鈴木広永、松本藤太郎（松本商店）大塚駒太郎（綠屋肉店）塩谷茂雄（丸茂土建）蒲生正利、滝口豊（丸一材木店）志賀子之松（志賀材木店）

◇会川豊、馬場金一郎、小川由雄高山寅次

◇朝日新聞、毎日新聞、読売新聞福島民報、福島民友、ラジオ福島、いはらき新聞、常磐毎日

◇橋本憲司（磐高）佐藤周吉（磐女高）松崎友文（平商高）富田高明（平工高）鈴木光四郎（平一中）草野悟郎（平二中）蓼沼儀（平三中）鈴木秉（草野中）水竹仁（藤間中）戸田清久（豊間中）荒川栄（赤井中）佐藤勝海（平一小）湯山啓二（平二小）新家芳美（平三小）吉田功（平四小）松本清美（平五小）長谷川武男（平六小）北原清（草野小）磯上盛（夏井小）高木盛太郎（赤井小）

◇氏家敏雄（七十七銀行）清水四郎（東邦）鈴木清一郎（富士）岡田文夫（日本勧業）鳥海菊五郎（平信用金庫）森田正光（福島相互）高田市郎（茨城相互）

◇諸橋合名、片倉工業平製糸所、日本水素工業、呉羽化学工業錦工場、石城酒造、堀江工業

◇大黒屋、鈴藤、藤越、三幸、松月堂、みよし、まるさ、平専門店会、平指定商連盟会、平信販平館、聚楽館、ひかり座、世界館、綴映画、民劇、第二イワキ佐藤武之（加納活版）高野立雄（三国屋印刷）日本水素労組、呉羽化学労組、大日本炭鉱労組鈴木一男、市井茂、矢野庫吉

◇蓮沼龍輔（県人事委員）馬目武之助（県議）高萩邦男（〃）小野義一（〃）箱崎利勝（平市議）小野善秋（〃）塩濱英（〃）金子松男（〃）石山一治（〃）萩原義雄（〃）佐藤友寿（〃）片寄保（〃）小野栄一（〃）渡辺昇（〃）志賀傳吉（〃）阿部長兵衛（〃）小松茂（〃）鈴木秋光（〃）会川伊重（〃）花沢久一郎（〃）鈴木功（〃）

◇鈴木正男（平医師会）大村一郎（平旅館組合）鈴木信雄（平料芸組合）大久保一（〃）井戸川安信（〃）大谷傳長（平料理店組合）白土喜伯（平芸妓屋組合）加藤武久（平市飲食業会）

◇福山カバン店、中野洋品店、ヤマカ、田中カメラ、金光堂、かみや、三井呉服店、あこう薬局岡万年筆店、山宗酒造店

◇永野新聞店、四倉町岡本新聞店草野佐藤新聞店、小川郷斎藤新聞店、勿来緑川新聞店、内郷馬場新聞店

◇山崎賢助（平商工会議所）吉田万吉（小川町長）荒川久馬（遠野町長）鈴木栄一（好間村長）産業経済新聞、NHK平放送局三和新報社、川崎英夫（常陽銀行）阿部春治（大東相互銀行）永山直猪（平安信用金庫）滝川寛、谷口保子（谷口楼）茂木茂（茂木カメラ）青島貞久（平市議）塩庄造（〃）大泉信雄（〃）木村淳（〃）中野二郎（〃）上坂昇（〃）四家健雄（〃）箱崎利勝（〃）福田長一郎（〃）内木宗八（石城医師会）江尻卿（磐城市議）佐藤信雄（平市役所総務部長）

（順不同、敬称略）

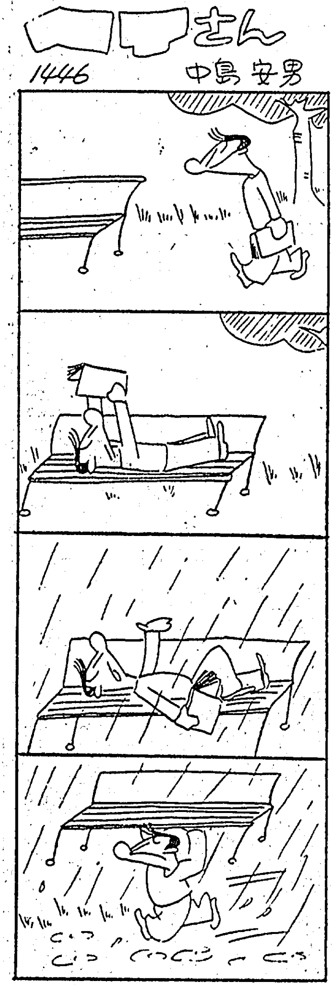
器樂講習會

常磐市湯本第二小学校では三十一日、日器楽講習会を開催する

指導開發の燈明台に

平市長 諸橋久太郎氏祝辞

祝辞、いわき民報紙がよく盤根錯節に耐えて輝かしい創刊十周年を迎えられましたことは真に慶賀に禁えません、慈に心からなる祝意を表し併せて将来の御発展をお祈りいたしたいと存じます、想うに新聞経営の事たる極めて困難の事業であることは既に公知の事実であります、ここにわがいわき民報紙は終戦直後経済界に、思想界に低迷混乱その極に達した時、救世の心己み難く敢然として創始せられたので、或は資金の乏しきに悩み或は要材の獲得に疲れ、加うるに思想的の圧迫はやゝもすれば報道の自由をさえ奪われんとする事一再ならず、而もよく忍び難きに耐えて今日断然郷土紙の王座を占むるにいたりましたことは、これ偏に社長の卓抜なる手腕と社員各位の一糸乱れざる協力体制によるものでありましてこゝに敬意を献げるものであります、今や現下内外の情勢愈よ重大断じて偷安を許しません、この時この際倍々その機能の発揮に万全を期せられ、飽くまで社会の木たく郷土指導開発の燈明台として一路その使命達成に精進せられんことを切望いたしまして祝辞に代える次第であります



電力料支拂う旨申入れ

大昭炭鑛で

【既報】電力料金未払から成行きが注目されている勿来市山田大昭炭鉱は最終支払期限三十一日を前に三十日未払金二百四十五万円のうち二月分百四十五万円を三十一日までに支払い、残金の百万円は六月二十日までに払込む旨を東北電力平営業所に申入れた、同平営業所では同申入れに対する裏付調査のため蓬田営業課長を現地に派遣したが、六月一日を期して全山暗黒が危ぶまれた大昭炭鉱の送電停止問題は漸く解決の見透しがついた

蓬田営業課長談＝申入れ通りに払い込まれゝば勿論送電します、従業員に気の毒ですから…経営者にどうも誠意がないんじゃないですか

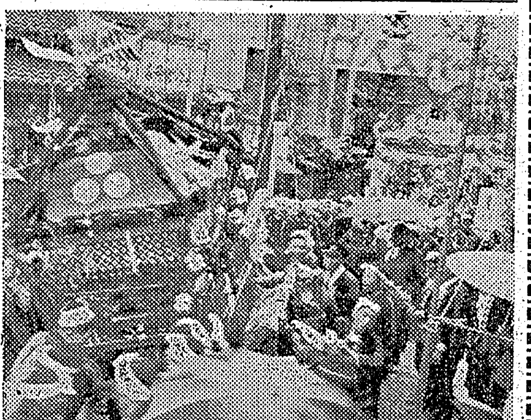
社會科研究會

磐城市小名浜第二中学校では中学社会科教科書の著者＝東北大学教授豊田武氏を招き、三十一日午前十時から石城、平中学校社会科研究会を開く

雨の中神輿練り廻る

淋しかつた四倉の祭禮

四倉町諏訪神社例祭は二十九日（旧四月八日）に行われた、合併後初の例祭とあつて相当の人出が予想されていたが、あいにくの雨にたゝられた為参詣者少なく戦後最少の人出だつた○…それでも降雨の中同神社に集つた神輿は子供の樽神輿を混じえてざつと十四、五、午前十一時すぎ諏訪様を出発町内をねり歩いた藤間舞踊家を乗せた商工会の花屋台も雨のため中止したが、ドシャ降りの中を神輿は威勢よく揉み歩き見物人からは気の毒がられていた○…一方人出をねらつて各商店では手ぐすねひいて待つていたが雨のため売れ行きはさつぱりなく、露天商人も開いた店をたゝむと云つた有様で戦後にない淋しい祭礼だつた【写真はお祭り風景】



電線が盗難

松カ岡附近

最近電線ドロが横行各所で被害が続出しているが二十八日午後五時ごろ又も常磐線平－綴間松カ丘附近の国鉄専用信号線が約百米盗まれているのを下り三二一列車の機関手が発見平鉄道公安室に届出た

通學生が盗難

二十九日午後五時二十七分平発常磐線上り気動車に乗つていた磐城市弁別社宅小名浜高校生徒佐藤俊夫君（一七）は網棚の上に置いたカメラほか二点時価二千五百円相当在中の風呂敷包を盗まれたと平鉄道公安室に届出た

〈三〉
ゆかた
6月1—5日
平かみや小名濱支店
開店大賣出し
★特價品山積
★景品進呈
平かみや小名浜支店
磐城市竹町電九四
高級呉服と實用衣料
かみや
平市二丁目電二五六・二〇一四

やつぱり
時計は
金光堂
五丁目　電195
コロムビア　ビクター
ラジオ　電蓄　各種
レコード　万年筆
楽器　楽譜　電気器具

映寫技術者見習募集
▼十八－二十五、六才▼新制中卒平市内居住の男子
女子従業員若干名募集
▼十八才以上▼新制中卒平市内居住者
▼右希望者は自筆履歴書持参本人直接御来館下さい▼委細面談
ひかり座

ハリウッド美容室
平・ろ・三幸階上・電1327

タイピスト生徒募集
▽普通科　六カ月
▽速成科　三カ月
▽夜間部　六時より
入学随時
就職確実
規則書呈
榮タイプライター商會
平市仲田町ひかり座裏通　電二〇四

プロ・ムジカ弦楽四重奏團の
演奏會を顧みて
ＫＯ生

弦楽四重奏はいうまでもなく室内楽の代表で管弦楽の土台となるものであります。この意味では音楽の中でも最も重要なものの一つであり、純粋な形式でしよう。しかしこれを聴く機会は東京のような都会でさえも数多くはなく、私たちのレコードコンサートの曲目にも余り見かけることがありません。これにはいろいろ理由があるでしようが、いわば食わず嫌いによるものが多かつたのではないでしようか。なる程オーケストラのような豪華さもピアノやヴアイオリンのような親しさもないかも知れませんが、四つの弦楽器の合奏から醸しだされるサロン風な雰囲気は誠に一幅の水彩画に例えられるものでしよう。その上この形態は音楽の技術上からいつても、表現の自在さからいつても、音色の美しさと和かさは、心良い均整美となつて私たちの心の深奥に迫つてくるものがあります。こんな良い音楽が人々にひろく愛されぬ筈はなく、一旦この美しさに触れると到底忘れえないだいご味がのこるようになります。

私たちもこの二三年中央の演奏家によるピアノやヴアイオリンを聴いてきましたが、今回の四重奏は以上の点からいえば、たいへん珍らしい企画である反面、ごく自然の成行きとも判断できるのです

当日は生憎の雨天で往来には都合わるく、楽器の音色にも決して良い環境ではなかつたのですが、こうした悪條件や演奏上のテクニツクの批判をこえて、本当に音楽の良さというものを味うことができました。

まずハイドンの「セレナード」はかれの親しみ溢れる情愛と誇張のない明るい美しさに浸り、とくに第二楽章の耳慣れたセレナード調のメロデイーには思わず顔を綻ばせ心の温まる思いでした。これこそ生活の慰安ともいうべき音楽でしよう。

ベートーヴエンの「ラズモフスキー第三番」はどの楽章を取りあげても珠玉の作品で、なかでも第二番目の豊饒な美しい緩徐楽章や最後の力のこもつたフーガ等まさに圧巻ともいうべく、ながく心に残るものであり、演奏そのものには多少の批判があるにせよ、ベートーヴエン音楽の真髄たる重厚さおよび偉大さはまつたく圧倒的なものでした。

シユーベルトの「死と乙女」はその名の歌曲からとつた第二楽章の熱情にみちた美しさがすばらしく、私はこの渋滞することなく湧きでてくる悲哀の美しさと、人間シユーベルトの薄幸の生涯を考えあわせ、知らず涙が頬を傳つてきたことを卒直に申しあげます。こうした境地は生の演奏でなければとても味わいえないとつくづく思いました。

アンコールは普通の四重奏では行わないのですが、熱烈な聴衆の拍手にこたえてハイドンの「鳥」の第四楽章が演奏されました。これも自然描写した鳥の声がたのしくひびきわたり、すつきりした綺麗な演奏だと思います。演奏がすんでも雨は以前として降つていましたが、音楽を聴いていた二時間ちかくは、聴衆がそれぞれ違つた感じ方をもちながらも、絶妙な綾なす楽の音にすつかり融けこんでしつとりとした雰囲気に雨の煙も和して、本当に心溢る落ちついた演奏会でした。演奏者たちも熱心な聴衆の気持が写つて思わず張切つてやりましたと、あとで述懐しておりました。

食わず嫌いの弦楽四重奏も、これを機会にやがて人々のあいだに理解され楽しまれるようになることを喜びあう次第です。

（筆者は尼子会員）

一時金二千圓支給
常磐の団交は大半が諒解

（既報）常磐炭鉱労組より要求の十月以降の新賃金問題その他についての團体交渉は会社側より廿八日回答があつたので午後一時から再開をしたが團交は深夜に及び、廿九日午後五時から再び開き徹夜で協議卅日午前五時までかゝつた結果、労組側の要求大綱七項目の中大半が了解点に達したが、なお二、三細部に亘り交渉の余地があるとして、卅日は各個別に協議し卅一日改めて続開することになつている

大体の所は十月以降五月までの工員一人当りの一時金二千円の支給は六月十三日の会計日に一千四百六十円、残額五百四十円は七月十二日の会計日に支給する、特別團体賞与は組合側は三百円を基準内にいれるとこの要求、また半請負、半固定制の実施などについては諒解点に達したといわれる 労資双方ともにストは出来得るだけ避けたい意向のようであるが、しかし組合側としては鹿島坑の重点スト態勢は確立しておるが卅一日の團交で妥結点が見出されるものと見られている

其石庵碁會開催

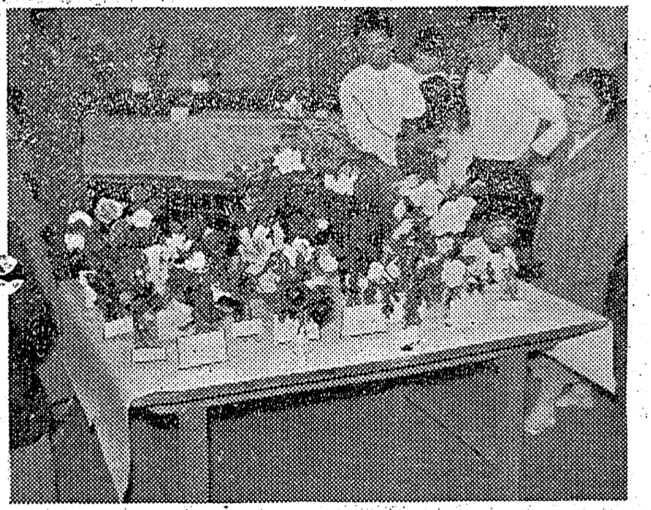
来る六月五日午前九時より鍛冶町同庵に於て月例碁会開催

スト權を確立
常磐労組　賛否投票で決定

常磐炭鉱労組では住宅問題や生活協同組合など福利厚生施設実現に対し強力なる斗争を展開する方針の一つとしてスト権を確立することとなりこれが賛否投票を二十八日全山一斉に行つた、午後七時から組合本部で即日開票を行つたが▼有権者数九千七百六票▼投票総数八千三百七十三票▼棄権一千三百三十三票▼白紙六百七十二票▼無効二十一票で賛成六千五百八十九票反対一千九十一票で圧倒的多数でスト権確立を決定した

箭内氏の死は業務外と決る

福島労働者災害補償保険審査会は井田暴力團の凶刃に倒れた好間村大字北好間字行人沢一箭内光氏にかゝる業務上認定請求に対し業務上外と決定した、昨年四月二十四日鳳城炭鉱株式会社小田炭鉱で出勤の途上、井田暴力團のために刺された箭内光氏の死亡につき妻里子さん（三五）から業務上死亡の認定請求があつたが、同審査会では光氏の事件は通勤途上のものでありとし業務外に断定したもの



バラ数百點展示

石城バラ協会主催のバラ展示会は廿八、九日湯本公民館で開いた、数百点の切花が展示され、会場には和やかな、ふくよかな空気が漂う午後から審査に移り優秀者に市長杯が授与された、なお廿九日午後二時から総会を開いた【写真は展示会場】

小松氏故山に歸る
戰犯九年五月、晴れて出所

捕虜虐待の容疑で戦犯に問われ重労働二十五年の刑を受け巣鴨刑務所に拘置されていた常磐市下浅貝九〇小松剣氏（四四）は今回晴れて釈放の身となり廿七日午後六時廿分湯本着列車で、九年五カ月ぶりに懐しのわが家に帰つた、駅頭には妻女とみさん（四二）長女富士子さん（一八）次女操さん（一六）＝第二中三年生＝三女和子さん（一三）＝第二小五年生＝の家族をはじめ勤務先である常磐炭鉱職員、隣人らが多数出迎え、涙にあふれる感激の対面をした、小松氏は駅頭で無量感の涙にぬれて言葉少なに「有難うございました、色々お世話になりました」と、胸迫る挨拶をした＝同氏が戦犯に問われた理由＝常磐炭鉱鹿島鉱に昭和十九年七月連合軍捕虜イギリス兵二百名、インドネシア兵二百名、カナダ兵二百名が収容、採炭作業に従事させた時の採炭係で指導監督の任に当つていたもので、労働時間を無視して労働に従事せしめた、裸で作業させたなどであり、二十一年一月巣鴨に収容、廿三年五月二十六日重労働二十五年の判決をうけてから九年五カ月で晴れの身となつたわけである、当時鹿島鉱から佐藤一郎、鈴木政雄、鈴木乾、舟木薫、小松剣の五氏が戦犯に問われうち同氏はすでに晴れの身となつており、小松氏が殿りで、これで常磐炭鉱の暗礬も晴れたわけである廿八日朝自宅にくつろいだ小松氏は交々語る

まだ巣鴨に六百名近くの戦犯者が残つておりますが、この人達が全部釈放になつてはじめて真の喜びを感ずるでしよう、釈放運動に奔走された方々に感謝しております、講和條約までの七年間は外出もできず、全くの自由は無かつた、講和條約後は一時出所など許可されるようにはなりました、同僚四人はすでに釈放となつており私が最後でした、これから元気で働き今後の戦犯釈放運動にも自分の力でやれるだけはやりたいと決心しております、いろいろとお世話になつたことに厚く感謝しております【写真は義母百江さん、妻とみさん、長女富士子さんに取囲まれてくつろぐ小松剣氏】

東邦湯本支店
改装成る

常磐市表町にある東邦銀行湯本支店は業務の発展に伴い手狭になつた所から拡張することとなり同町若松弁護士方の一部を借りうけ工費七十万円で常磐市吹谷鈴木建設KK（社長近藤一利氏）の手で改装工事を行つていたが竣工したので廿九日移転、卅日から新営業所で業務を開始する【写真は新装なつた東邦銀行湯本支店】

かみやで小名濱支店

平かみや小名浜支店（磐城市竹町電九四）は来る六月一日から開店する、開店記念として五日まで大売出しをするが特価品山積、景品進呈する

磐高が優勝
高校柔道大會

石城地区高体連、磐城柔道会共催の高校柔道大会は二十九日午前九時から平警察武道場に十二校、八十四選手が参加、立業に寝業に肉弾相うつ熱戦を続けたが磐高が優勝した、順位次の通り

一位磐高、二位平工、三位小名浜水産

今週の映画
25日＝31日

★平舘　夜六時三五分　花のゆくえ　女郎ぐも
★民劇　夜六時二八分　夜も昼も　黄色いリボン（一日まで）
★聚楽館　夜六時四〇分　オズの魔法使　麦笛
★ひかり座　夜七時十五分　白い馬　赤と黒（六日まで）
★世界館　夜七時一分　天下を狙う美少年　海の若人

新しいＤＰは富士

ナショナル三菱 扇風機
今夏も人氣一番…
扇風機一台のお買上げで
ナショナル家庭電化製品
一式超豪華景品が当る
抽せん券を差上げます
藤越

開花亭のパン

服を生かす裏地
甲商サベリ特約店
丸進裏地部
平市東御座通り電1358

ラジオはシャープ。

パンとケーキ
錦製パン
錦町大倉電216

電話四九四番
一般建築材　建具材
阿部材木店
平市紺屋町

ＤＰはタナカ

賣宅地
▼五〇坪、百坪▼場所住宅に好適
平市才槌小路踏切際電三六一
色川材木店

土地分譲
磐城市宮下駅より三分
入用の方は御相談に応じます
磐城市宮下　田口繁工

店員募集
▽平市内居住▽通勤可能の者▽十八才から二十五才まで▽履持面談
平市材木町電七〇九　武田薬局

貸店舗
▽平市内目貫通▽新築二階建▽間口二間×奥行四間▽階下店舗向十間、二畳▽階上六畳、四畳半▽仲介断委細面談　姓名在社（19）

書籍
文房具
事務用品
紙製品
魁文堂書店
平市才槌小路　電小売部　313番
電卸売部　1891番

外科
肛門科
上田醫院
平市南町（平局裏通）
電話一二九番

文化人は時間を大切に…
信用ある正確な…
腕時計は
優秀な技術で修理迅速調製
誠光堂
平市銀座通
電一四九六

大谷石の販賣
土木建築の請負
平土建工業所
平市南町八
電呼一一九二

ホシ友　錦町
うまい醤油ホシ友

眼科
安田醫院
平市紺屋町電一一三五

ミシン
パインミシン
シンガーミシン
蛇の目　芝浦
一流ミシン取扱
☆チケツトご利用下さい
工場　植田町北台町電三六
営業所　植田町本町電呼三〇
飯塚ミシン商會